

海上輸送サービスの特性

1. 省エネ効果

- ・京都議定書の発効により、地球温暖化対策が急務となっており、陸上輸送から海上輸送へのモーダルシフトを強力に推進する必要があります。
- ・フェリー、RORO船等の国内海上輸送は、**低エネルギー消費、低CO₂排出**の環境にやさしい輸送モードです。(1トンの貨物を1km輸送したときに排出するCO₂の量はトラック輸送に対して**1/3~1/5**)

2. 定時性

- ・全国の主要な都市の間(別紙航路図参照)で、定期運航を行っています。
- ・運航の**定時性が確保**されており、**遅延率も低い水準**です。
(30分以上の平均遅延率:瀬戸内海航路は僅か**1.3%**、太平洋等長距離航路でも**6.6%**)
- ・台風等の異常荒天時を除き、**殆ど欠航はありません**。
(平均欠航率:瀬戸内海航路は**1.0%**、太平洋等長距離航路でも**2.3%**)
- ・万一、欠航する場合には、利用者への**事前連絡**を行っています。
(原則、朝便は前日中、夜便は当日午前中までに利用者に連絡、航海中遅延の場合も連絡)

3. 柔軟性

- ・輸送単位は、軽トラックから10トン大型トラックまで、また、12フィートから40フィートコンテナまで**様々な種類の貨物の積載が可能**です。
- ・船内に電源プラグも備え付けられ、**冷凍・冷蔵貨物の温度管理も可能**です。

4. 安全性・安定性

- ・船舶は振動も少なく、輸送時の振動による**荷崩れ、荷傷みは殆ど生じません**。